

指定管理者の管理運営に対する評価シート（年度評価）

所管部課	健康スポーツ部 スポーツ推進課
評価対象期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

I 指定管理の概要

施設概要	名 称	龍ヶ崎市総合体育館外16施設			
	所在地	龍ヶ崎市中里3丁目2番地1外			
	関係条例等	龍ヶ崎市都市公園条例及び同条例施行規則 龍ヶ崎市総合運動公園の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則 龍ヶ崎市運動公園の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則 龍ヶ崎市運動広場の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則			
	設置目的	龍ヶ崎市スポーツ推進計画では、誰もが健康で楽しめる生涯スポーツ社会の実現を目指しています。同計画の基本施策の一つに「スポーツ施設の整備・充実と有効活用」を掲げ、龍ヶ崎市総合体育館（ニューライフアリーナ龍ヶ崎）をはじめとする様々なスポーツ施設を設置しています。			
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
指定管理者	名 称	たつのこまちづくりパートナーズ 代表企業 コナミスポーツ株式会社 構成企業 常陽メンテナンス株式会社／東洋グリーン株式会社／ 特定非営利活動法人 クラブ・ドラゴンズ			
	所在地	代表企業 東京都品川区東品川4丁目10番1号			
	事業内容	コナミスポーツ株式会社 スポーツ施設、遊技場施設等の経営 スポーツ教室、カルチャースクール等の経営 等 常陽メンテナンス株式会社 建築物の環境衛生に関する総合管理、電気通信機器、空調設備等の保守 管工事業、土木工事業、道路公園管理 等 東洋グリーン株式会社 公園、緑地、グラウンドの管理 等 特定非営利活動法人クラブ・ドラゴンズ ジュニアからシニアまでの各年代を対象にスポーツ教室・講座等を実施			
指定管理業務の内容		・施設の利用許可及び取り消しに関する事 ・施設及び備品の維持管理に関する事 ・施設の利用料金の徴収に関する事 ・スポーツ教室など自主事業の実施に関する事 ・利用者アンケート調査の実施に関する事			
指 定 期 間		令和7年度～令和11年度（5年間）			
総合評価（年度評価）		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		B			

TOKIWA スタジアム龍ケ崎のスコアボードが県内最大級の全画面表示に更新されたことから、野球以外の活用方法を模索いただき、さらなる利用者満足度の向上につなげていただきたい。

⇒大型映像装置の機能を活かした野球以外の活用方法として、5月31日に人気プログラムを一斉に体験できる「たつのこファミリーフェスティバル」を TOKIWA スタジアム龍ケ崎で企画したものの雨天によりニューライファリーナ龍ケ崎での開催を余儀なくされた。閉場期間である2月1日には、市内野球チームのスコアボードを活用した卒団式を開催する旨の相談に対し、市と協議のうえ、施設の利用を承認し、思い出となる卒団式の開催に協力した。具体的な活用には至っていないものの、野球以外の活用に前向きな姿勢を見せており、魅力あるイベント開催の実現に向けて、市と継続的に協議を行っているところである。

2 評価結果

評価基準及び評価のポイント	配点	評価 RANK	得点
I 【有効性】施設の設置目的の達成に関する取組み など	50	-----	30
(I) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	30	B (R6:A)	18 (R6:24)
①事業計画書等で示す各種事業やイベントは適切に行われたか。また、当該年度の管理運営目標を達成できたか。			
②施設の利用者数の増加や利便性を高めるための取組みがなされたか。			
③複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られたか。			
④施設及び備品は適切に維持管理がなされたか。			
⑤施設の設置目的に応じた営業・広報活動がなされたか。			
【評価の理由、要因・原因分析】			
① 令和7年度から令和11年度の指定期間での要求水準の利用人数426,000人以上、利用料金収入額55,000千円に対し、令和7年度事業計画書では、利用者人数408,200人、利用料金収入56,000千円を目標に設定し、各種サービスに取り組んでいる。その結果、利用人数は前年度から22,554人増の411,396人と伸び、コロナ禍前の水準に戻りつつある。特に、メインアリーナ（+1,484人）、サブアリーナ（+3,822人）、プール（+4,134人）、トレーニング室（+2,270人）が伸びている。主な要因に挙げられるのは、高齢者を中心とした日常的な卓球や、プール、トレーニング室にかかる施設利用であり、健康維持や生きがいづくりを支える拠点となっている。 一方、総合運動公園外施設を含めた利用料収入は、前年度と比べ1,962,954円増となったものの、利用者増の中心である高齢者層（65歳以上）の利用料金を安価に設定していることもあり、目標値56,000千円に対して、53,013千円と未だ届かない状況下にある。 卓球やプール、トレーニング室等の日常的な施設利用者との関係構築に努め、安心・安全、快適に利用できる空間を継続的に提供したことにより、利用人数が上昇傾向にあることは評価するが、いまだ達成に至っていない利用料収入の目標額達成に向け、ホームページ等による情報発信に努めるとともに、民間事業者のノウハウを活かした大会やイベント誘致により、更なる利用料収入の確保が期待される。			
② 施設の利用者数の増加や利便性を高めるため、次の取組みが実施された。 ・ ウェルカムチケットの配布 ・ 特定健診受診者への施設無料利用券の配付 利用者数…プール59人（R6：67人）、トレーニング室37人（R6：93人）計96人（R6：160人）			

- ・スポーツ教室の実施・・・コース型教室（おとなの卓球教室・子ども向け教室等）・ストレッチ体操等無料教室
- ・都度有料教室（ヨガ・ボディパンプ・ズンバ等）利用者ニーズに合わせ様々な教室を実施。
- ・中学校部活動支援クラス（ジュニアボルダリング、ジュニアバスケットボール、ヒップホップ等）
教室利用者数：R7年度48,771人（R6：48,393人）
- ・イベントの実施・・・祝日における特別レッスンの開催（お客様感謝デー、ファミリーフェスティバル、GW イベント等）、ボルダリング無料体験会
- ・プリペイドカードの継続運用・・・購入金額の10%を増額
- ・トレーニング室にソニックマシン（超音波リラクゼーションマシン）や全身マッサージ機を自主的に設置し、施設利用の快適性向上に努めているほか、トレーニング機器にトレーニング方法の掲示、ストレッチ室に写真でストレッチ方法を掲示し、初めての利用者にも分かりやすくなるよう心掛けている。
- ・利用者の多い夏季期間（7/20～8/31）は休館日を設けず開館することにより、利用者の利便性向上に向けた取り組みを実施。
- ・ボルダリングウォールのホールドを再設定して課題を変えるなど、利用者の満足度向上に努めている。また、スクールにワールドカップ出場経験のある講師を迎えるなど、市と連携を図り、普及に努めている。
- ・月額料金6,600円でプログラムが受け放題となる制度「う・け・ほ」を導入。労務単価の上昇に対応するため、やむを得ず10月から7,700円（継続利用6,600円据置）に上げを行ったが、プログラム利用者の定着化を反映し、昨年度（882人）と同水準（890人）の利用者数を維持している。
- ・WEBでのイベント申込・予約を可能とし、利便性の向上に努めるとともに、LINEやInstagramの登録者数の増加に取り組むなど、デジタルを活用した情報発信に努めているが、ホームページの視認性や掲載情報の充実などの課題があることから、さらなる改善が望まれる。
- ・月次報告書及び年次報告書の一部数値について修正を要する事例が見受けられたため、報告書作成体制の改善が望まれる。利用人数や利用収入等、施設の方向性を見極める基礎となる報告書であることを十分認識し、報告書等の作成体制を整える必要がある。

③ フィールド、スタジアムの芝生の維持に用いる機器等を双方柔軟に使用することができ、また、来場者が多数見込まれる大会では、龍ヶ岡テニスコート等の駐車場の開放やスタジアムのスコアボード裏の空き地を駐車場にする等、施設を一括して管理しているメリットを活かした対応が図られた。

④ 各施設の点検・検査は、仕様書のとおり適切に行っており、日常点検による設備等の異常等は迅速に共有するよう連絡体制を整え、適宜修繕等の対応をしている。また、毎月の定例会では月単位での修繕の実施や設備等の懸念事項の報告を受け、今後の対応を協議している。さらに、修繕対応に特化した修繕委員会を定例会とは別に実施している。

各施設にかかる備品管理・大会時の準備等では、利用者に配慮した管理に留意し、屋外施設の備品の修繕等についても定期的な巡回に基づき可及的速やかに対応している。特に、フィールド・スタジアムの芝生は冬芝・夏芝と通年を通して緑の芝生の状態を維持しており、大会関係者に高い評価を得ている。

一方、スタジアムの管理体制について、経験のある担当者が退職となり、運用が円滑に引き継がれていないところが見受けられた。仕様書の内容の確認はもとより、各企業の役割分担を明確にし、利用者の利便性向上に資する運用に努め、新たな大会等の開催につながるような環境づくりに期待したい。

⑤ ホームページやリーフレットに加え、フェイスブック等のSNSを活用し、イベントや各種教室等の情報発信も行い、利用者増加に向けた取り組みを実施しているが、②でも述べた通り、特にホームページのさら

なる改善に期待をしたい。

(2) 利用者の満足度

①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られているか。

②利用者の意見を把握し、それを反映させる取組みがなされたか。

③利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。

④利用者への情報提供が十分になされたか。

⑤その他利用者満足度を向上させるための具体的な取組みがなされたか。

20

B
(R6:A)

12
(R6:16)

【評価の理由、要因・原因分析】

① アンケートは、「アリーナ個人利用」、「アリーナ団体利用」、「フィールド・スタジアム・屋外施設」、「高砂体育館」、「北文間体育館・スポーツサロン北文間館」「テニス」の調査対象を分けて実施している。評価は、5点満点中概ね4点台の水準を維持している。施設の老朽化もあり、施設・備品等の項目が昨年度と比べやや下降傾向にあるのは、やむを得ない側面もあるが、アリーナやフィールドのスタッフの対応等も同様に下降しているのは注視する必要がある。

② アリーナにご意見 BOX を設置し、寄せられた意見に回答を添えて、アリーナ掲示コーナーとプール更衣室付近の2か所に「お褒めの声」、「要望」、「意見」を色分けして見やすく掲示するとともに、定期的に掲示内容を差し替えしている。さらに幅広い方に共有を図るため、ホームページにアンケートの集計結果を掲載している。また、寄せられた意見に対して、対応が可能なものについては、迅速に対応し運営への反映がなされており、協議が必要な意見については、スポーツ推進課と適宜協議を行っている。

③ 寄せられた意見の反映と同様に、市と指定管理者で協議をし、その都度対応にあたっており、スポーツ推進課へ直接届く苦情等に関しても、事実関係を明確にしたうえで、回答を得ている。

自主事業の都度教室等の休講への対応に寄せられた苦情に対し、指定管理者も課題と捉えていることを踏まえ、早急な改善策を練り、再び同様の苦情等がないよう注力が必要である。

④ イベント案内・教室の変更等については、ホームページの掲載のほか、SNS 等を活用し迅速な情報発信に努めている。また、施設通路の壁に掲示板を設置して利用者の目につくよう掲示され、デジタル、アナログ両面から情報提供を行っている。一方で、ホームページは利用者をはじめとした閲覧者が見やすく、施設を利用したいと感じるような内容となることを期待したい。

⑤ コナミスポーツ（株）では、コース型教室としておとなの様々な教室や子ども向けの教室等、幅広い年齢の方を対象とした教室を開催しているほか、1回単位から参加できる都度教室を開催しており、月額料金でプログラムが受け放題となる「う・け・ほ」を導入している。また、定期的にイベント等を開催し、継続利用者や新規利用者の獲得に努めるとともに、自動販売機を新たに設置し、長時間の施設滞在にも対応できるよう努めている。

東洋グリーン（株）は、フィールド・スタジアムの芝生について、質の高い状態を常に維持することにより、利用者や大会主催者等からは、同規模施設と比較しても高い評価の声をいただいている。

常陽メンテナンス（株）では、館内の清掃や日常点検及び備品の点検・修繕等適切に行っており、利用者からの多様なニーズへの対応に尽力している。無料施設である屋外施設の除草についても、手を抜くことなく定期的に見回りを行い、広大な施設が良好な状態を維持し、利用者から高い評価を得ている。

（特非）クラブ・ドラゴンズは、フィールドでの陸上記録会やサッカー大会時の備品の準備や管理の他、更新したスタジアムのスコアボードの操作を習得し、大会等の運営にあたっている一方で、大会開催時の人員配置に課題が残っている。スポーツサロン北文間や北文間体育館では、スポーツ教室等を開催するなど、利用率向上に向けた施設の運用をしている。

また、昨年度まで社会福祉協議会がアリーナ内で運営していた「たつのこカフェ」を引き継ぎ、利用者の交流や憩いの場としての役割を果たしている。

評価基準及び評価のポイント	配点	評価 RANK	得点
2 【効率性】 効率性の向上等に関する取組み	20	-----	16
(1) 指定管理業務に係る経費の低減 など	20	A (R6:A)	16 (R6:16)
①施設の管理運営に関し、経費を効率的に低減させるための取組みがなされたか。			
②収支計画に沿った予算の適切な執行がなされたか。			
③清掃や警備、設備の保守点検等の業務は適切な水準で行われたか。 また、再委託している場合経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

- ① 物価高騰や労務単価の上昇など管理運営経費を取り巻く環境は厳しさを増しているが、JVとしてのメリットを活かして、施設の受付業務やスポーツ教室はコナミスポーツ（株）、公園の除草やアリーナの日常設備点検・清掃などは常陽メンテナンス（株）、フィールドやスタジアムの芝生やグラウンド整備は東洋グリーン（株）、フィールドの備品の管理や屋外施設の管理・屋外のスポーツ教室等は（特非）クラブ・ドラゴンズと、それぞれの得意分野を担当することで、経費削減に努めている。

また、令和7年度から精算方式となった光熱水費においても、冬季閉館時にはプール施設のガラス部分に保温シートを貼る等の光熱費低減に向けた取り組みを継続するほか、サマータイム（7月・8月・9月 8:30～22:00）、ウィンタータイム（12月・1月・2月 9:00～22:00 プールのみ9:00～20:00）により、利用者のニーズに応えながらメリハリをつけた施設運営に努めた。

- ② 事業計画に基づき適切に予算を執行している。歳出において、芝生管理経費が計画を上回るものの、事業費、人件費の圧縮に努めた結果、自主事業からの補てん額は抑制された。現下の物価高騰や労務単価の上昇を受け、歳出環境が厳しい状況である中、民間の強みを最大限生かしながら効率的な維持管理に鋭意取り組むとともに、依然計画を下回る利用料金の増収に向けた打開策を講じ、自主事業の補てん依存度を低減させていく必要がある。

- ③ 設備の定期保守点検業務や測定・検査業務、機械警備など再委託しているものもあるが、仕様書に定めた水準で適切に行われているとともに、軽微な修繕や指摘等があった場合には（特非）クラブ・ドラゴンズを司令塔役として速やかに対応している。

また、定期的に館内備品等の整理及び館内消毒の徹底・施設備品のメンテナンスを行っている。屋外施設についても同様に計画的に作業を行うことで、常に良好な状態を維持している。

評価基準及び評価のポイント	配点	評価 RANK	得点
3 【適正性】 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	30	-----	21
(1) 施設の管理運営の実施状況 など	15	A (R6:12)	12 (R6:12)
① 施設の管理運営に当たる人員は適切に配置され、また適切な雇用・労働環境のための取組みがなされたか。			
② 職員の資質・能力向上のための取組みがなされたか。			

③ 地元貢献（地域経済活性化や地域との連携など）のための取り組みがなされたか。			
【評価の理由、要因・原因分析】			
① 指定管理期間の継続の利点を最大限生かし、施設の特徴を知り尽くした管理者や実務経験を有する責任者の配置の下、仕様書に定める事項を果たすべく、適切なスタッフを配置している。また、地元雇用を積極的に推進し、アルバイトとして市内在住者を中心に約50名雇用（内、流通経済大学の学生10名）するほか、施設清掃等の作業を（公社）龍ヶ崎市シルバー人材センターに委託している。			
② プールで溺れた人の救助を念頭に置いたプールフロアの安全確認の研修や AED&CPR（心肺蘇生法）研修などを行い事故の未然防止に努めている。そのほか、コナミスポーツ（株）独自のノウハウが詰め込まれた接客・接遇に関する研修動画を新規採用者等は視聴するなど、職員各自のスキルアップにつなげる取組がなされている。			
③ 本市が取り組む「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」推進事業の一環として、ボルダリングウォールをアリーナロビーに設置するほか、学校生活への復帰を支援する「夢ひろば」の活動にボルダリングを取り入れることに協力するなど、市と連携し施策展開に大きく貢献している。			
また、城ノ内小学校の「まち探検（約60名）」や市内中学校の職場体験の受入や龍ヶ崎市職業体験イベント「たつのこワクワクワーク」に協力しているほか、閉館日等に市内小学校のプール授業に監視員を2名配置し施設を開放するなど、青少年の健全な育成や市の教育活動に寄与している。			

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制 など		15	B (R6:B)	9 (R6:9)
①施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されていたか。				
②利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。				
③日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。				
④防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。				
⑤事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。				
【評価の理由、要因・原因分析】				
① 個人情報の取り扱いについては、マニュアルに沿った運用をしており、随時、研修を行うとともに、運用上の問題がないか確認している。また、IT セキュリティ理解度テストを通じて、情報漏洩等への初期対応を学んでおり、さらに、コンプライアンスの遵守を強化するため、毎月全職員（アルバイト含む）に研修動画を視聴するように義務付けており、年3回全職員（アルバイト含む）に個人情報理解度テストを実施した。				
② 利用者への不当な差別的取扱いがないよう「お身体の不自由な方の利用基準」を定めるとともに、常時、接客・接遇研修を行っている。また、障がい者手帳アプリ「ミライロ ID」を取り入れ、スマホの提示により障がい者区分の利用料金が適用できる取り組みを行っている。				
③ 3（1）②で記載した研修に取り組んでいるほか、事故の未然防止に向け、業務責任者を中心とした施設の日常点検が適切に実施されている。万一、急病人やけが等の事案が発生した場合にも、救命救急講習を踏まえ適切に対応できる体制を整えている。また、ボルダリングのホールドの着脱清掃やプール床面のスベリ防止清掃を実施するほか、プールの水質は、文部科学省の指針を上回る水質基準を管理指標に挙げ、利用者の安全・安心な施設利用に努めている。				
④ 3（1）②で記載した研修に取り組んでいるほか、各施設において、緊急時連絡網及び危機管理マニュアルが整備され、避難ルートの確認など、利用者の安全に向けての防災対策をとっている。				

また、龍ヶ崎消防署と連携を図りながら、たつのこアリーナ・フィールド・スタジアム・高砂体育館・北文間体育館自衛で消防訓練を実施しているほか、トレーニング室やスタジアム等での緊急時対応訓練、避難経路の確認を随時行っている。

- ⑤ 「1件」事故が発生した報告を受けているが、適切な対応により大事には至っていない。また大会開催中の怪我等は、主催者と連携して円滑な対応を心掛けている。

評価 RANK	得点率	評価 RANK の内容
S	100%	目標（計画）を大幅に上回り、優れた管理運営がなされている。
A	80%	目標（計画）を上回る管理運営がなされている。
B	60%	目標（計画）どおり適正に管理運営がなされている。
C	40%	目標（計画）を下回る管理運営がなされている。
D	20%	目標（計画）を大幅に下回る管理運営がなされている。
E	0%	不適切な管理運営がなされている。

【総合評価】

合計得点	67 点 (R6:77 点)	総合評価	B (R6:A)
[総評] 令和6年度で構成企業4社からなるたつのこまちづくりパートナーズとしての5年間の指定管理期間を終え、同体制で迎える、新たな指定管理期間の初年度となる令和7年度は、施設の老朽化が進行する中で、これまでの管理経験や継続した設備の状態把握に基づき、大きな事故等もなく施設の安定的な稼働がなされている。また、高齢者を中心に利用者数が伸びており、コロナ禍前の水準に戻りつつある。これは、卓球タイムや高齢者向け教室の継続した取組や、長年にわたる教室の運営や日常的に施設を利用する個人や団体との信頼関係の構築が要因として挙げられる。AIメカテックフィールド龍ヶ崎、TOKIWA スタジアム龍ヶ崎の芝生管理は大会関係者から高い評価を得ており、その他の無料施設等も日常的な管理により、常に利用者が満足する状態を維持していることは評価に値する。 市が推進する「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」事業では、自主的にモニタリング的なクライミングウォールを購入し、入り口付近に設置することにより来場者への周知を図り、不登校児童生徒の学校生活への復帰を支援する「夢ひろば」のスポーツの時間でのサブアリーナのボルダリング体験での見守りを快く引き受けるなど、まちづくりを進めるパートナーの一員としての自覚を十分感じるところである。 一方で、施設の稼働状況やニーズを把握し、施設の方向性や軌道修正を図るための重要な指標となる報告書に修正を要する箇所が散見されることは大きな課題であり、指定管理者として長期的な運営を続けてきていることにより利用者の要求基準が高くなっていることが要因と考えられるが、アンケートでの指標が若干の減少傾向にあることには注視する必要がある。 [改善を要する事項] ・ TOKIWA スタジアム龍ヶ崎における大会開催時の役割分担を明確にし、利用者の満足度向上に努めるとともに、幅広いスコアボードの活用尽力に尽力いただきたい。 ・ 利用人数、利用料収入等は施設の方向性を決める基礎的な指標であるため、各種報告書の内容が精緻となるようチェック体制を整えること。 ・ 民間のノウハウを生かし、誰にでも伝わる、施設に行ってみたい、教室に参加してみたいと思えるホームページの作成・運用に取組むこと。			

総合 評価	総合評価の内容	合計得点
S	特に優れていると認められる。	90 点以上
A	優れていると認められる。	70 点以上 90 点未満
B	適正であると認められる。	60 点以上 70 点未満
D	努力を要すると認められる。	50 点以上 60 点未満
E	相当の努力を要すると認められる。	50 点未満

【龍ヶ崎市指定管理者選定委員会の意見】

令和 7 年度の利用者数は 411,396 人で、事業計画上の目標値である 408,200 人を上回るとともに、前年度と比較して 22,554 人の増加となった。特に、高齢者による卓球利用のほか、プール及びトレーニング室の利用が伸びており、施設の設置目的の達成に向けて一定の成果が認められる点は評価できる。

一方、利用者満足度は、各調査項目において引き続き 4.0 以上の高い水準を維持しているものの、前年度から若干低下しているため、SNS による情報発信の充実、キャッシュレス決済の導入及び施設の運営体制及びホームページの改善について検討し、利用者の利便性と満足度の向上に努められたい。

また、TOKIWA スタジアム龍ヶ崎の大型スコアボードについては、野球以外での活用を積極的に進め、指定管理者が有する専門的なノウハウを生かした新たな事業の展開と、施設のさらなる利用促進につなげていただきたい。

管理運営実績データ

施設名

龍ヶ崎市総合体育館外 16 施設

事業計画の内容

●サービス向上への取り組み

スポーツ教室の拡大/ウエルカムチケット・特定健診受診者施設無料券の配布/多言語の館内放送導入/意見箱設置/利用者アンケート/フィールドの無料開放デーの実施など

●自主事業

スポーツ教室の実施/レンタルシューズ・レンタルロッカーの貸出/フィットネスウェア・水着・トレーニングに適したドリンク等の販売/高砂体育館への自動販売機設置

実績

運営状況

■管理施設一覧

①総合体育館「たつのこアリーナ」

②陸上競技場「たつのこフィールド」(第3種公認競技場 (日本陸上競技連盟))

③野球場「たつのこスタジアム」、多目的広場1面

④高砂体育館

⑤北文間体育館

⑥小貝川市民運動公園 野球場1面、多目的広場 (ソフトボール場3面)

⑦高砂野球場 野球場1面

⑧若柴公園 テニスコート3面

⑨城南スポーツ公園 テニスコート3面

⑩大正堀川運動公園 テニスコート3面、野球場1面、多目的広場1面

⑪龍ヶ岡公園 テニスコート8面 (内フットサルコート兼用2面)

⑫工業団地運動公園 野球場2面

⑬北竜台公園 野球場1面

⑭横田川運動公園 サッカー場1面

⑮羽原川運動公園 サッカー場1面

⑯北文間多目的広場 多目的広場 (サッカー場1面)

⑰スポーツサロン北文間 レクリエーションルーム2室、オープンスペース

■主な取り組み

取組項目	内容
スポーツ教室	コース型教室 (3ヶ月)・高齢者無料教室・都度有料教室など ・子ども向け教室：ストリートダンススクール・ボルダリング無料親子体験会 ・一般向け教室：ニューススポーツ体験会・屋外スポーツ教室等 利用者数 48,771人 (R6：48,393人)
ウエルカムチケット	特定健診受診者への施設無料利用券の配付 転入者、特定健診受信者へアリーナプール又はトレーニング室の1回無料チケット配布 (有効期間：1年間) 利用者：プール59人 (R6：67人) トレーニング室37人 (R6：93人)
多言語館内放送	日本語、英語、中国語、韓国語による館内放送
意見箱設置	1Fロビー、B1プールロビーに寄せられた意見に対して回答を掲示
イベントの実施	市民が参加しやすい祝日を活用し、運動のきっかけづくりとなる特別レッスンやイベントを開催
無料開放デーの開催	たつのこフィールドにおいてオープンフィールドを実施。

利用状況	■利用者数（人）					
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
	利用者総数合計	328,027	406,783	396,247	388,842	411,396
	（以下内数）					
	たつのアリーナ	190,188	211,451	209,845	211,468	224,837
	内メインアリーナ	91,554	56,884	52,356	48,389	49,873
	内サブアリーナ	10,639	15,487	14,780	12,169	15,991
	内幼児体育室	107	215	269	182	180
	内多目的室	9,622	12,479	14,964	16,983	16,882
	内柔剣道場	18,105	25,882	26,744	28,932	30,694
	内プール	42,272	72,260	66,355	67,468	71,602
	内トレーニング室	17,889	28,244	33,711	37,345	39,615
	たつのフィールド	19,094	44,056	49,937	44,211	44,043
	たつのスタジアム	7,849	14,131	12,327	11,880	12,504
	多目的広場	0	0	126	0	0
	高砂体育館	12,714	12,001	11,452	11,204	12,148
	北文間体育館 スポーツサロン北文間	9,195	13,958	16,836	20,547	22,370
	その他屋外施設	88,987	111,186	95,724	89,532	95,494
	※工事等によるプール休館 17日間					
利用料（使用料） 収入及び減免の状況	■料金収入実績(円)					
	H25(直営)	R3	R4	R5	R6	R7
	53,834,420	33,411,462	50,012,419	53,262,818	51,049,761	53,012,715
	■R7年度利用料金収入目標値（還元基準額） 56,000,000円					
	■R7年度減免実績					
		R3	R4	R5	R6	R7
	件数	78	167	192	186	142
	減免額	1,800,408	2,460,101	2,741,034	2,335,592	2,379,325
	対象：市や市教育委員会の事業、小・中・高等学校等の大会、スポーツ協会等加盟団体の公式大会等					

■利用者アンケート調査の実施状況（11/6～11/27）

区 分	配布	回収	回収率（％）
① アリーナ個人利用	500	347	69.4%
② アリーナ団体利用	150	107	71.3%
③ 屋外施設	50	11	22.0%
④ 高砂体育館	20	13	65.0%
⑤ 北文間体育館	30	19	63.3%
⑥ テニス利用	50	18	36.0%
計	800	515	64.4%

■集計結果（数値は、大変良い/良い/普通/悪い/大変悪いを5点から1点に換算した値）

*()内は前年度実績

①アリーナ個人利用者

受付・フロント 4.03 (4.19)	スタッフの			案内物や 掲示物について
	第一印象	対応	身だしなみ	
	4.11	4.11	4.11	3.77
トレーニング室 4.04 (4.18)	スタッフの			使用方法の表示
	第一印象	対応	指導	
	4.18	4.12	4.01	3.86
プール 4.01 (4.02)	スタッフの		教室の数	清潔さ
	第一印象	対応		
	4.18	4.12	3.83	3.89
スタジオ 4.12 (4.21)	インストラクターの		教室の数	清潔さ
	第一印象	対応		
	4.29	4.26	3.86	4.05
ロッカー・トイレ 4.08 (4.16)	ロッカーの清潔さ	トイレの清潔さ		
	4.03	4.13		

②アリーナ団体利用者

受付・フロント 4.01 (4.24)	スタッフの			案内物や 掲示物について
	第一印象	対応	身だしなみ	
	4.08	4.06	4.06	3.82
施設・備品等 4.15 (4.14)	施設	備品	スタッフの対応	
	4.21	4.06	4.17	
ロッカー・トイレ 4.29 (4.22)	ロッカー・更衣室 の清潔さ	トイレの 清潔さ		

	4.25	4.32
--	------	------

③フィールド、スタジアム、屋外施設

受付・フロント 4.18 (4.82)	スタッフの			案内物や 掲示物について
	第一印象	対応	身だしなみ	
	4.18	4.27	4.27	4.00
施設・備品 3.87 (4.38)	施設	備品		
	4.18	3.55		
ロッカー・トイレ 3.78 (4.06)	ロッカー の清潔さ	トイレの 清潔さ		
	3.73	3.82		

④高砂体育館

受付・フロント 4.50 (4.50)	スタッフの			案内物や 掲示物について
	第一印象	対応	身だしなみ	
	4.23	4.00	4.15	4.15
施設・備品 3.81 (3.97)	施設	備品		
	3.77	3.85		
ロッカー・トイレ 3.85 (3.67)	ロッカー の清潔さ	トイレの 清潔さ		
	3.77	3.92		

⑤北文間体育館・スポーツサロン北文間館

受付・フロント 4.33 (4.15)	スタッフの			案内物や 掲示物について
	第一印象	対応	身だしなみ	
	4.42	4.42	4.42	4.05
施設・備品 4.11 (4.13)	施設	備品		
	4.11	4.11		
ロッカー・トイレ 4.18 (4.39)	ロッカー の清潔さ	トイレの 清潔さ		
	3.89	4.47		

⑥テニス利用

受付・フロント 4.14 (4.26)	スタッフの			案内物や 掲示物について
	第一印象	対応	身だしなみ	
	4.22	4.22	4.22	3.89
施設・備品 4.03 (3.99)	施設	備品	コート	草刈り
	4.17	3.89	4.06	4.00

事業費内訳	決 算		予 算	
	収 入		収 入	
	指定管理料	249,250,000	指定管理料	249,250,000
	利用料金	53,012,715	利用料金	56,000,000
	指定事業	2,912,460	指定事業	3,500,000
	幼児一時預かりサービス負担金	73,350	幼児一時預かりサービス負担金	150,000
	自主事業からの補てん	9,820,504	自主事業からの補てん	19,500,000
	計	315,069,029	計	328,400,000
	支 出		支 出	
	事業費	15,273,336	事業費	19,618,000
	施設管理維持費	123,572,668	施設管理維持費	133,948,000
	人件費	121,296,380	人件費	131,551,000
	その他管理運営費	12,911,507	その他管理運営費	13,436,000
	消費税	27,305,389	消費税	29,847,000
	精算金 (備品・光熱水費)	14,709,749	精算金 (備品・光熱水費)	0
	計	315,069,029	計	328,400,000